

訪問看護認定看護師のさらなる活動の拡大をめざして

日本訪問看護認定看護師協議会 設立会・総会開催

2005年に訪問看護分野の認定看護師教育課程が開講されてから5年目を迎え、2009年7月現在、全国に131名の訪問看護認定看護師が存在するまでになっている。その全国的なネットワークの構築と活動の場の拡大を目指し、8月9日(日)、日本財団ビル(東京都港区)にて日本訪問看護認定看護師協議会 設立会・総会が開催された。

設立会は事務局を務める松井美嘉子氏(日本訪問看護振興財団認定看護師教育課程訪問看護学科主任教員、2006年認定)、宮澤智子氏(同専任教員、2007年認定)、高橋邦江氏(同事務)の進行のもと、協議会設立の趣旨が説明され、大多数の賛同をもって設立が承認された。

なお、事務局から推薦され、承認された役員は下記の通り。

代表：野崎加世子氏(岐阜県看護協会訪問看護ステーション統括所長、2007年認定)、副代表：当間麻子氏(偕行会在宅医療事業部運営局長、2009年認定)・小野朱美氏(大分県立看護科学大学看護研究交流センター訪問看護認定看護師教育課程、2008年認定)、会計：柴田三奈子氏(山の上ナースステーション、2009年認定)・齋藤雅子氏(恵光訪問看護ステーション、2009年認定)、監事：金子美千代氏(大隅鹿屋病院、2009年認定)

選出された役員が述べた抱負を一部紹介する。「訪問看護の発展と看護の未来に向けて、もっと大きな夢のある訪問看護の団体として活動していきたい」(野崎氏)、「看護の原点ともいえる在宅での看護の魅力を伝え、若いナースを訪問看護の現場に引き寄せる力をつ



代表を務める野崎加世子氏(最右)たち、役員6名

けていきたい」(当間氏)、「地域格差を解消するためにも、ネットワークの構築を進めて地方での訪問看護を充実、育成していきたい」(小野氏)。また、賛助会員として佐藤美穂子氏(日本訪問看護振興財団常務理事)より「団結こそ力なり。地域のなかで線となり面となって活躍してほしい」と激励のことが送られた。

総会では洪愛子氏(日本看護協会常任理事)による記念講演「訪問看護認定看護師活躍への期待」も行なわれた。資格認定制度の概要や成り立ちをふり振り返りつつ、2010年に訪問看護分野では初の更新審査が行なわれることも踏まえ、認定看護師に期待される能力や現在制度が直面している課題について確認がなされた。講演後、「認定看護師のネットワークを深め、スクラムを組んで活動していきたい」と松井氏が抱負を語り、会を締めた。

今後の詳しい活動内容については下記まで。

●事務局

日本訪問看護振興財団認定看護師教育課程内
(担当 松井・宮澤・高橋)

TEL. 03-5778-7008 FAX. 03-5778-7009